

令和2年度

埼玉県障害者虐待防止・権利擁護研修
『当事者の声を聴く』
～障害があっても自分らしく
地域で暮らしたい～

ピアカウンセラー 見形 信子(さいたま市)

自己紹介

さいたま市で
24時間介助を受け
て一人暮らし

見形 信子
といいます



1969年
生まれ



障害名は
脊髄性進行性
筋萎縮症

自宅で 介助者にお菓子を食べさせてもらってます



ライフイベント♪

1981年～1987年

小学校は訪問学級

**中学・高校は 埼玉県立蓮田養
護学校に通う(療養所に入所)**

1990年～

1993年 ダスキン障害者リーダー
海外研修事業に参加 アメリカへ

1997年 さいたま市(旧浦和市)
でひとり暮らしをスタートさせる

自立生活運動に 関わる

2000年～

**2001年 自立生活センターと
介助派遣事業所を仲間と 設
立に関わる**

2006年

神経筋疾患ネットワーク設立

2020年現在

神経筋疾患ネットワーク 代表

ピアカウンセラー

相談支援専門員

障がいを持っている人って…

施設や病院にいる
家で家族と暮らしてる
ひとりで何もできない

重い障がいがあると
地域の中では暮らすのは大変だ！
生きていくの辛そう…(>_<) 不幸せにちがいない

そんなイメージ壊そう！

入所中の時代（病院の食堂、仲間とホッケー）



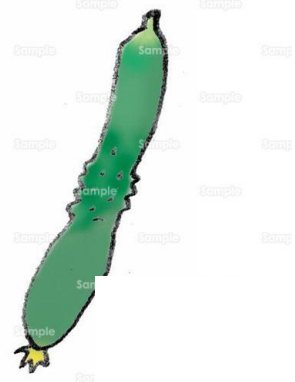
病院での生活

- ①12歳から親と離れ入所生活...
- ②自由のない暮らし 仲間の死...
- ③異性介護!
女性として見られない・・・(;_;
- ④先輩障がい者との出会い♪
- ⑤病院を出よう(^▽^)
- ⑥28歳、自立生活スタートo(^-^)/

Qスーパーで何を基準に野菜を選びますか？ 【身近にある選別思考】



pixta.jp - 12047258



優生思想

優生保護法→母体保護法

らい(ハンセン病)予防法

第二次世界大戦→ナチスドイツ→障害者虐殺→ユダヤ人大量虐殺

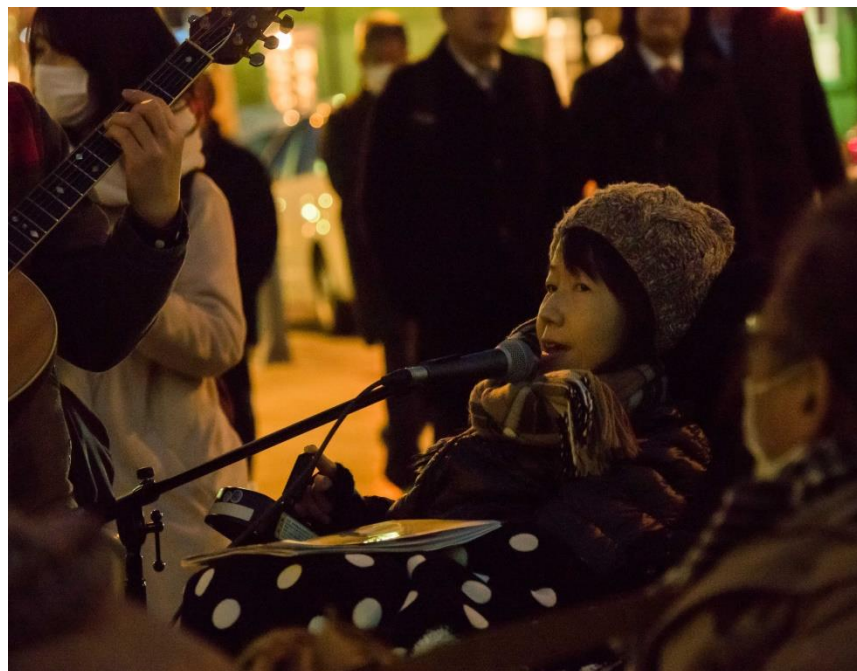
国の政策(団結)に障害者が使われた。

旧優生保護法による強制不妊手術をめぐる裁判

命の選別進む！

相模原障害者殺傷事件 声明文から

- ①「障害者はいなくなれば良い」という考え
- ②犠牲者の実名が報道されなかったこと
- ③「介助職の負担を軽減させることが大事だ」という話へのすいかえ
- ④集合施設の存在
- ⑤措置入院



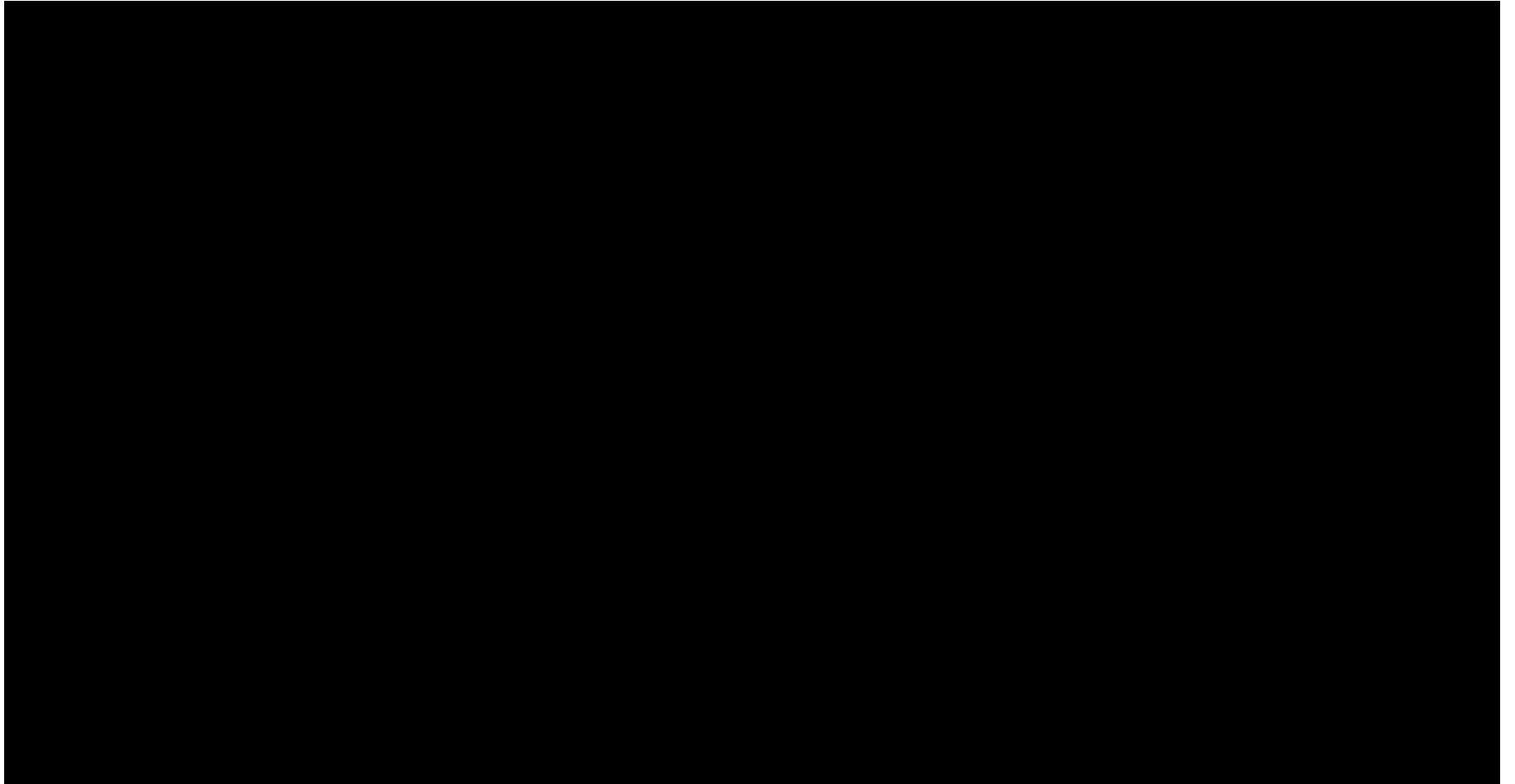


19の軌跡 youtubeご覧ください♪

<https://www.youtube.com/watch?v=gX4yurwPyX8>

命の重さ
に違いは
ない！

街頭での アピール活動



障がいのある私のごく普通の 地域での暮らし

車椅子を利用して移動できたり、
介助者に頼んだり、いろんなサービスを使い、
人とつながって地域で生活すること

その人が人生の主人公としていろんな場面で
選びながら生きていけることです

特別なことではないのです

障がいのある人は
障がいのない人と同じスタートラインに
立っていない

人としてあたりまえの暮らし
まだまだ実現できていない

人として『在る』ということ =存在そのものが素晴らしい

あらゆる差別や偏見は障害者だけの問題
ではない。

特定の人を排除する社会は弱い社会

みんなが当事者であるという自覚が社会
を変え、価値観を変える。

END